平成27年度包括外部監査

監査のテーマ：千葉市が実施する廃棄物対策事業（ごみ減量・再資源化事業、ごみ処理事業、し尿処理事業、浄化槽指導事業及び産業廃棄物対策事業）に係る事務の執行について

第3 外部監査の結果 Ⅲ リサイクル推進に係る監査結果について

Ⅲ - 1. 資源物のリサイクル推進について 5. 剪定枝チップ機貸出事業について (3) 結果

監査の結果（指摘事項の概要）	講じた措置
①剪定枝チップ機貸出事業の効果測定及び備品の有効活用【収集業務課】（報告書 P210） 事業の実績を剪定枝チップ機の貸出件数で認識した場合、剪定枝等が再資源化された量に関わらず、事業の実績を認識することになり、事業の実績を正しく認識できない。また、環境事業所を通して剪定枝チップ機を貸し出しているが、実際の剪定対象枝の太さに比較して、当該剪定枝チップ機の対応できる枝の太さに限界があり、剪定枝チップ機としての機能を果たすことができず、環境事業所では苦情等を少なからず受けている。それに伴い、当該剪定枝チップ機が貸し出されことなく、環境事業所の倉庫に保管されたままの状態であるチップ機が複数存在しているというのが現状である。 【指摘】 事業の実績に関して、実際にチップとして処理された剪定枝等の量を把握するなど、ごみの減量化に直接的に関連する指標を設定し、減量効果を可能な限り把握することを要望する。また、本来の機能を果たさない剪定枝チップ機は、機能に応じた利用を求める他の部門に所管換えするなどの対応を実施し、財産の有効活用を図るよう、早急に検討されたい。	事業実績の把握については、平成30年1月から、利用者から剪定枝の処理量の報告を求め、ごみ減量効果の把握を行っている。 剪定枝チップ機については、機器の実態と他部門への利用希望調査を実施し、他部門へ2台所管換えを実施した。